

3-4 装置諸元表

(仕様を超えて使用したい場合は弊社技術にご相談下さい)

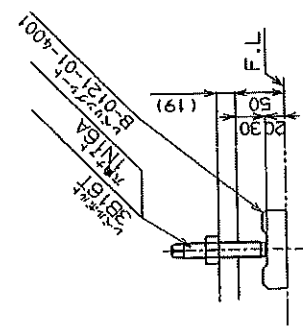
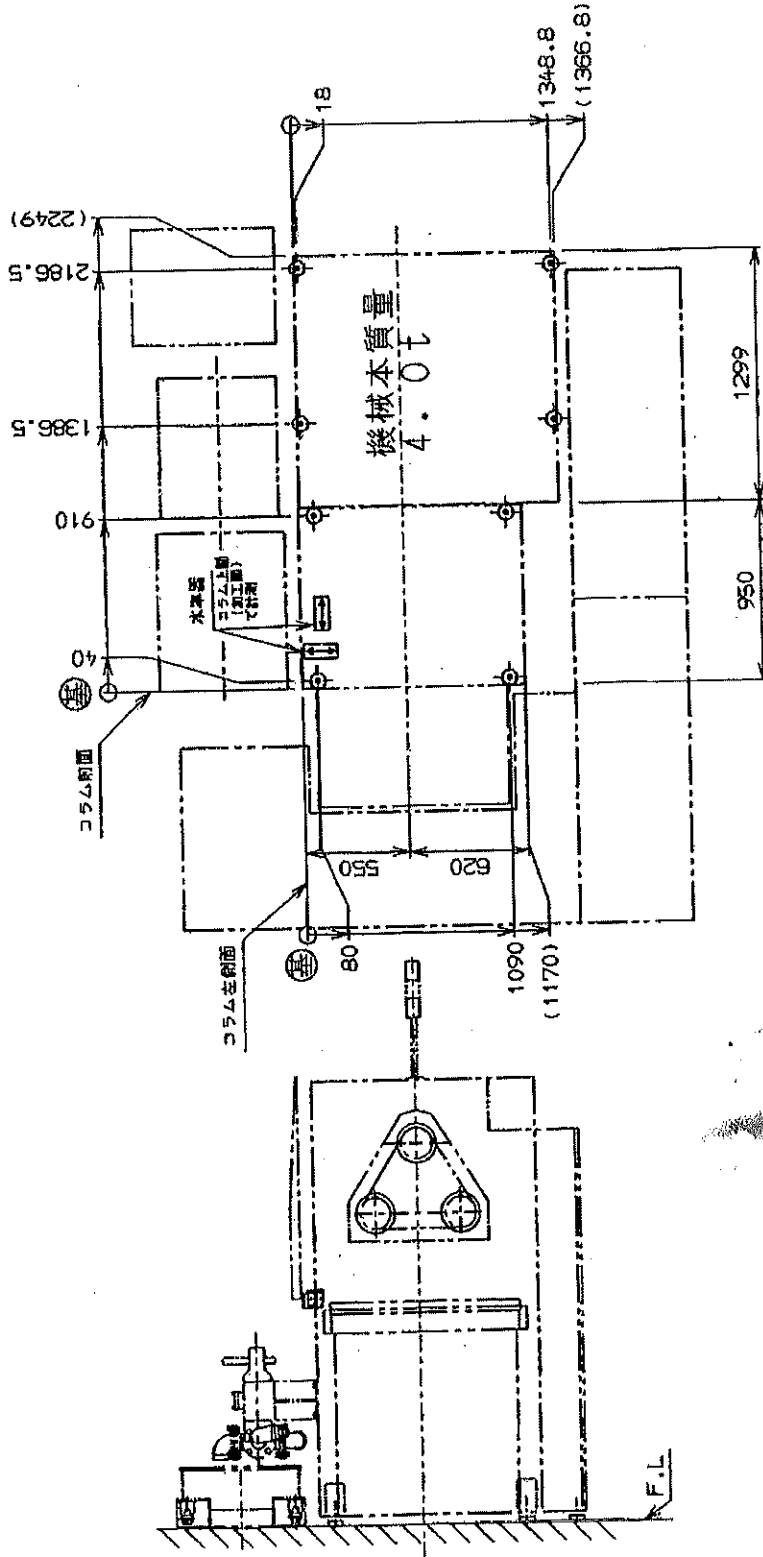
ワーク寸法	φ6"×長さ300、幅MAX時300×長300×高20 (注①)	
ローラ関係	外形	ドライブ 160φ ヘッド 145φ (注②)
	ワイヤ巻巾	最大 300mm
	ワイヤ本数	最大ワイヤ本数=3500N÷張力 (N:ニュートン)
	ヘッド間隔	" 450mm
ワイヤ関係	線速	最大 600m/分
	往復ストローク	1往復 40m
	往復サイクル	最大 15回/分
	フィード	最大 200m/分
	線径	常用 φ0.08~φ0.16mm
	張力制御範囲	5.0N~25.0N (最小設定単位0.1N)
	新線質量 巻取重量	20kg 80,000m (ワイヤ径φ0.12mm以下)
テーブル	速度	加工時 0.01~10mm/分 (0.01mm/分単位) 早送り 100mm/分 (最大)
	ストローク	原点から上昇限界L.S. ON迄 280mm
	ワークテーブル	前後ストローク ±5mm 水平面内回転角 ±5° 垂直面内回転角 ±2°
	砥粒タンク	容量 50リットル、冷却可能型、攪拌機付
	洗浄タンク	容量 70リットル
使用電源	3相200V、42A (計算値)	
使用空気源	圧力0.4MPa、流量700dm ³ /分	
本体寸法	巾1430mm、奥行2869mm、高さ2300mm	
外部寸法	巾2750mm、奥行4100mm、高さ2750mm (注③) 踏み台含む	
機械質量	本体4.0TON、砥粒タンク装置150kg (台車35kg含む)	

注) ① 最大寸法での試料台の回転はできません。

② ヘッドローラの使用可能な最小径は130φ、ドライブローラは145φ迄です。

③ 3灯パトライトのトップは、2750mmとなります。

4-2. 機械据付図



レベリングボルト部詳細
(計8カ所)

- 水準器位置 コラム上面(精度0.06/1m)
- 据付け高さ F.L(フロアー)より50mm
- 必要床強度 機械の重さに耐えられること。
かつレベリングシート接触部が170N/cm²の面圧に耐えられること。